

高齢ドライバーの皆さん

心身機能の低下による事故を防ぐために、しっかり実践！

安全を確かめるときは、目線だけではなく、意識的に顔全体を右左に向けましょう！

「行けるかも…」と思っても、決してあわてることなく、安全な状況になるまで待ち、余裕をもって行動しましょう！



●加齢に伴い、視野が狭くなるなど視機能が低下します。そのため、目線だけを動かしてチラッと見るだけでは、他の車両や歩行者などを見落とす危険性が高くなります。

●加齢に伴い、他車との距離を見誤ったり、状況を見ていざ行動するまでに時間がかかったりしがちです。そのため、危険なタイミングなのに行動を始めるケースが少なくありません。

徹底しましょう！夜間の安全運転



- 夜間の事故は、昼間の事故よりも死亡事故になりやすい…という危険な特徴があります。
- 先行車や対向車がないときは、こまめにライトを「上向き」に切り替え、横断中の歩行者・自転車などの危険をできるだけ早く発見するよう努めましょう。
- 対向車がやってきたときは、その直後の死角から横断してくる歩行者・自転車を予測し、スピードを落とすなど、いつでも対処できる構えで進行しましょう。



- 新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、ようやく事態が収束に向かう希望が見えてきましたが、その一方で、長期にわたるさまざまな社会活動自粛の反動により、今後、自転車や車で出かける人、外遊びする子どもなどが増え、交通事故が増える懸念もあります。
- 交通事故を防ぐためのポイントを今一度確認し、社会の一人ひとりが安全通行・安全運転に努め、みんなが笑顔でいられる安全な社会を実現しましょう。



自転車利用者の皆さん

# こんなふうに思っていたら…非常に危険です!

## いつも車はこないのに、いちいち止まるのは面倒…

- 自転車事故の多くは、自宅近くの信号がない交差点で、自転車利用者が「いつも車はこないから…」と油断して一時停止や安全確認を怠り、いきなり交差点に進入したために車と出会い頭に衝突したものです。

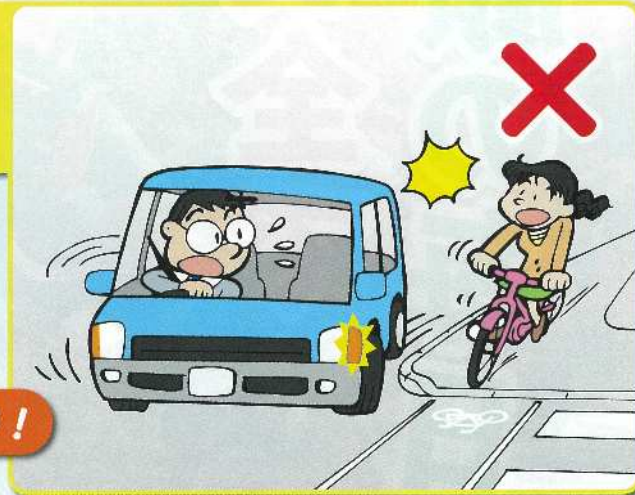
交差点では必ず一時停止をして安全確認!



## 青信号なんだから、こっちが優先でしょ…

- 「青信号だから…」と油断して周りの状況を見ず、無警戒に横断歩道や自転車横断帯を通行していた自転車が、交差点を右・左折して横断歩道等を横切ろうとした車と衝突する事故が少なくありません。

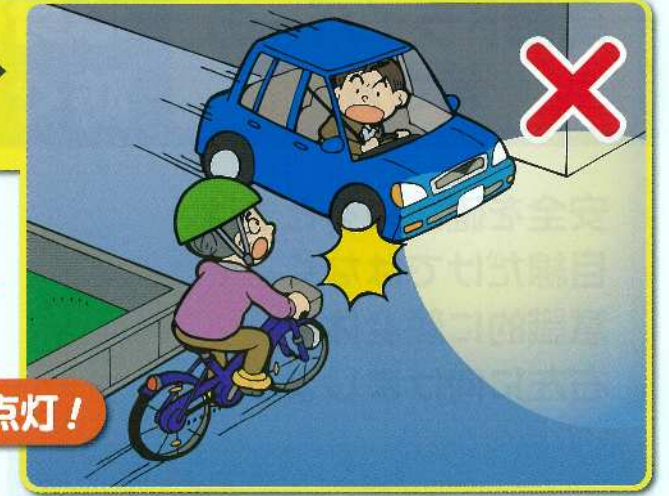
青信号でも、右・左折車の動向に目配り!



## 暗くてもちゃんと見えるから、ライトなんてつけなくても…

- 自転車のライトは、自分の進路を見やすくするためだけでなく、他車のドライバーなどに自転車の存在をアピールするために付けるもので、無灯火だと見落とされて車に衝突される危険性が高くなります。

薄暗くなってきたら、早めにライトを点灯!



## 歩道を歩いている人って、正直じゃまなんだよね…

- 歩道を我が物顔で通行したことにより、歩行者と衝突する事故も少なくありません。そもそも、自転車が歩道を通れるのは、「通行可」の標識・道路標示がある場合や、13歳未満・70歳以上の場合などに限られます。

歩道を通れる場合でも、歩行者の通行が優先!



ドライバーの皆さん

# 子どもの危険な行動を予測・警戒して、事故から守りましょう!

### ①住宅地の生活道路では、子どものとび出しを警戒!



- 子どもは、転がったボールを追いかけて、友だちと合流しようとしたとき、周りを見ずにいきなり道路にとび出しがちです。

### ②駐車車両や電柱などの物陰に潜む子どもを予測!



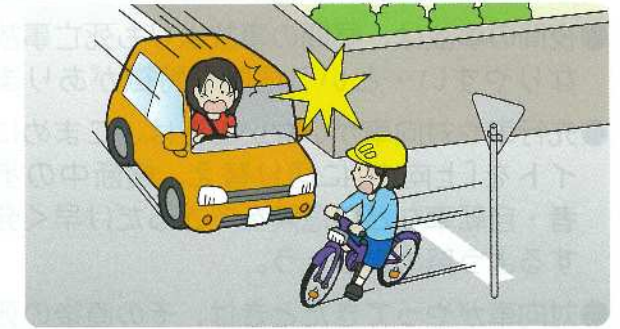
- 体が小さい子どもは、わずかな物陰にも隠れてしまい、その陰から急にとび出してくることが少なくありません。

### ③右・左折時は、子どもの駆け込み横断を警戒!



- 子どもは、信号が青だと、周りをよく見ずに勢いよく横断しがちです。付近に子どもがいないかよく確かめて右・左折しましょう。

### ④信号がない交差点では、自転車のとび出しを警戒!



- 住宅地の交差点では、交差道路側に一時停止の標識がある場合でも、子どもの自転車がいきなり出てくることなくありません。